

# SHINICHI

2019

No.577

広報

# 新地7

創立1113年の伝統

おもひの木  
1017年(徳川幕府第11代将軍・徳川家茂の御代)に、新地町立新地高等学校の前身である新地高等学校が創立された。創立1113年の伝統を継承し、新地町の発展と教育の向上に貢献する。この木は、新地町立新地高等学校の創立1113年を記念して、2017年3月11日に植樹された。この木は、新地町の歴史と文化を伝える重要なシンボルとして、大切に育てられていく。

2017年3月11日  
福島県立新地高等学校

おもひの木

# 新地高校の統合について

県教育委員会（教育庁）

ではありません。

では平成31年2月に県立高等学校改革前期実施計画を公表し、その内容は再編整備として新地高校と相馬東高校を統合し、校舎は相馬東高校を使用するというものでした。

これらを踏まえ、6月13日に新地高校同窓会、父母と教師の会、新地町商工会が連名で存続を求める要望書を県教育委員会へ提出しております。

町や同窓会の考え、今の取組について取り上げます。

新地高校は100年を越える伝統がある町唯一の高校です。この統合は実質的な廃校を意味し、町としては到底受け入れられるもの



▲県教育委員会へ要望書を提出

## 福島県立新地高等学校の統合について

新地町長 大堀 武

平成30年12月20日に県教育委員会県立高校改革監が来庁し、新地高校を相馬東高校に統合する計画である旨の話がありました。年が明けて統合の公表を控えた週、平成31年2月4日には、県教育委員会教育長が来庁し、町に統合再編についての説明がありました。さらに2月25日には県教育委員会県立高校改革監が再度来庁し、新地町議会全員協議会で「県立高等学校改革基本計画」を説明いただきました。統合に関する説明は受けましたが、復興の

大きな支柱の一つである新地高校の歴史と存在意義を考えると統合そのものが理解できず、ましてや寝耳に水の話でもあり、町も議会も教育現場や地域をないがしろにした机上での数の論理に憤りさえ覚えました。年度当初の4月5日には、議長・副議長等と共に県知事及び県教育委員会教育長に新地高校存続についての要望書を提出してまいりました。その後、5月31日には県教育委員会県立高校改革班が主宰し、新地高校で高校改革懇談会が開かれました。残念ながら県の「はじめに統合ありき」の姿勢は変わりませんでした。

求した村民総意の要望に添えて創立された学校でもあります。創立当時から、農業科と家庭科の二クラス編成の67名でスタートした「新地農業補習学校」であり、学校規模が縮小したわけではありません。時代の潮流に対応して校名変更はありましたが、教育基本法・学校教育法が制定施行された昭和23年からは現在の福島県立新地高等学校として二クラス編成のまま現在に至っております。

現在の校地は山林原野を開拓した土地であり、開墾



▲長年の歴史の中で地域に根差した活動を行っている（駅前カフェ活動）

には土地所有者や地域の方々、PTA、生徒が一丸となって取り組んだ歴史があります。機械のない時代の12,000坪余りの開墾は想像を絶する苦勞であつたと今でも伝えられております。

新地高校は地域の核となる学校であり、地元企業の労働力確保には必要不可欠な学校でもあります。町にとって統合は廃校に他ならず、地域社会への影響は多大です。町内で唯一の高校

がなくなることは、地域住民から大切なものを奪うことでもあり、地域住民の喪失感に直結すると危惧しております。

そればかりか、復興創生と町のにぎわいづくりを合言葉として、新地町が元気に人口増に向かい努力を重ねている時期に大きな打撃です。政府の掲げる地方創生や県の被災地に寄り添った行政に相反するものであると大いなる矛盾を感じるばかりです。統合の公

表後に高校入試Ⅱ期募集がありました。受験生は将来に不安を感じ、新地高校を避ける姿が浮き彫りになりました。これは、まさしく風評被害ではないかと思われました。

新地高校は受験生の進路希望を勘案し、平成26年度からコース制を導入するなどして看護、介護福祉、保育等の分野の進路に小規模校ならではの懇切丁寧なキャリア教育を実践しており、多様なハンデキャップを乗り越え、立派な社会人として活躍すべく生徒の育成に真摯に努めていることは周知の事実であり、人材確保に熱心にあたっている町の企業にとつて、新地高校の果たしている役割は極めて重要です。

町も、生徒の通学に利便性を図る等、物心両面から可能な限りの支援を継続しているところです。

つきましては、福島県立新地高等学校の存続を強く願うものです。町を挙げて

高校の存続を支援してまいりましょう。

## 新地高校の取り組み おもひの木プロジェクトについて

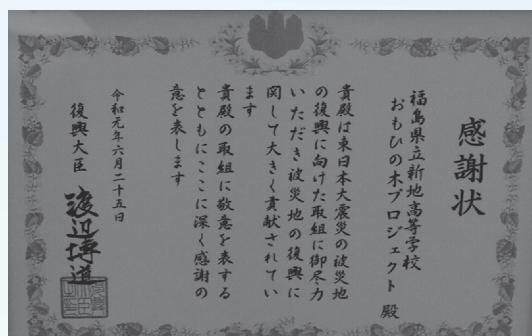
新地高校では東日本大震災にて当時の在学生1名と震災の10日前に卒業式を終えた8名、数多の同窓生の尊い命が津波の犠牲となつたことを受け、平成29年3月11日に万感の想いを込め沙羅の木を植樹しました。

この木は「おもひの木」と命名され、生徒たちは震災の教訓を後世に伝えようと「おもひの木プロジェクト」を立ち上げ、地域の滅亡の意識向上のため積極的に語り部活動などを行います。

これらの活動は被災地の復興に大きく貢献しているとされ、令和元年6月25日に復興大臣より感謝状が送られました。



▲町内の企業や施設でのインターン活動は生徒へのキャリア教育に大きく貢献している



▲復興大臣より感謝状が贈られた  
(令和元年6月25日)

福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一 様

福島県立新地高等学校の存続を求める  
要 望 書

令和元年 6 月 1 3 日

福島県立新地高等学校同窓会 会長 水戸 樹 一  
福島県立新地高等学校父母と教師の会 会長 小賀坂 義 紀  
新 地 町 商 工 会 会長 後 藤 顯 一

福島県立新地高等学校の存続を求めることについて

私たち、福島県立新地高等学校同窓会、福島県立新地高等学校父母と教師の会及び新地町商工会は、平成31年2月8日に福島県教育委員会が発表した県立高校改革の前期実施計画における福島県立新地高等学校を福島県立相馬東高等学校に統合する計画について、平成31年4月12日に福島県教育庁県立高校改革室長から説明をいただいております。

私たちは下記の4点を鑑み、福島県立新地高等学校の存続について強く要望します。統合に反対の意を表します。

記

1 性急な改革案

平成11年3月に「県立高等学校改革計画(第二次まとめ)」が発表されております。その中で、学校の適正規模と学校の適正配置に関しての言及がなされております。実際の改革は3校の統合高等学校の創設、2つの分校の募集停止と4校の総合学科への転科であります。

相双地区の生徒数の減少は前々から認識されていたことで、統廃合を勘案しながらも学級数の削減という小手先の教育行政手法で対応を繰り返していたと判断されます。

それが、重い腰を上げ、平成29年6月の学校教育審議会からの答申を得ると、性急に平成30年5月には「県立高等学校改革計画」を策定しております。このことは、新聞などで報道されましたが、被災地域において復興復旧途上で新しい町づくり(復興創生)に邁進している住民には高等学校の統合は被災地への帰還拒否を促進するもの、新地町にあっては、まさに地域に根ざした高等学校の廃校命令と受け取るほかはない現状であります。新地高等学校の同窓会、父母と教師の会、教職員、生徒たち、地域の人々も落胆の思いを隠すことは出来ません。

統合が発表され新聞報道がなされた後は、その内容に大きな不安を覚えている人も多くおり、新地高等学校への進学を断念して受験を回避する中学生も顕著に見られました。

学校の適正規模と少子化を楯として、被災地の実情をないがしろにしたと推測できる1学年3学級以下の学校に対して問答無用に統合を迫るなどという理不尽なことは、高等学校と密接な関係にある団体としては受け入れることは出来ません。

2 創立以来の1学年2学級規模

新地高等学校は、前身を含めて創立以来1学年2学級規模の学校であります。「県立高等学校改革計画(第二次まとめ)」で示された「小規模の分校化の基準」にある「1学年1/2以下の状態が3年続いた場合、その翌年から分校とする。」の文言を拠り所として同窓会及び父母と教師の会は受験生徒数が1/2以下にならないように多方面に呼び掛けるなどの活動を継続して行ってまいりました。高校入試Ⅱ期選抜の出願期間前に予想外の統合計画発表があったにも拘わらず1/2以上の入学者数を確保してまいりました。このことから、新地高等学校は伝統的に1学年2学級の教育文化を形成維持していると言っても過言ではありません。

基本計画では「魅力ある教育環境」を説き、学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模は1学年4学級から6学級としております。このことから、新地高等学校のように1学年2学級規模の学校は統合されるべきであるとの数値主導の既定概念として受け止められているのではないのでしょうか。新地高等学校は3に記しますが、福島県にとっても小規模校の特性を生かした一世紀以上に及ぶ歴史ある高等学校であるはずで、学校規模を縮小しながらの1学年2学級規模の高等学校とは違い、元来、小規模校として維持発展してきた学校であることを御理解いただきたい。平成26年度からは生徒の希望進路を加味したコース制を導入されるなど、画一的な高校とは一味も二味も違うことを御理解いただきたいと切に願うものであります。

### 3 相馬地区での役割

新地高等学校は新地町だけでなく、相馬地区全体で中学校での学力が身につかずに苦悩している生徒を受け入れるなどし、先生方が一丸となり教育指導に当たっていただいております。中には中学校時代まで学校に行けずに家庭で引きこもりを起こしていた生徒や不登校の児童生徒を対象にしたフリースクールに通学していた生徒を少なからず受け入れております。つまり、義務教育において学校不適應であった生徒も受け入れている学校です。

多くの難題を抱えた生徒は、学校規模として適正であるとされる1学年4学級以上の学校で分散された状態で学校生活を送ることは困難であり、私立高校や定時制高校もない地域で新地高等学校のように同じ悩みを抱えた生徒同士が集まる小規模校の学級編成の高校だけが柔軟に対応でき、地道ではあっても着実な教育成果を上げております。それらの生徒へは学び直しを含めて教育し、高校卒業以上の資格を求める企業や短大、大学などへの進路指導を熱心になされ実社会に適應する人間として送り出している新地高等学校の姿に保護者は勿論、同窓生も心の底から敬意を覚えております。今まで経験のない生徒会役員や各種委員会、部活動等での委員長、部長等のリーダーとしての任務を果たすことでコミュニケーション能力の伸長が図られるばかりでなく、自己有用感を抱くように成長していることが学校外からでも理解できます。

新地高等学校の保護者の多くが「自分の子どもが中学校までの学習や行動基準で見られた場合に、統合された高等学校に入学できるのか、あるいは入学した場合に面倒見られないままに長欠や不適應の名の下に高等学校を中途退学してしまうのではないかと語っております。そして、「自分の子どもの場合を思うと新地高等学校があつて良かったと胸をなで下ろしている」と付け加えております。また、「荒んでいた心を癒やしてくれたのは母校でした。だから決して忘れることはない」と、当時の先生方の名前やエピソードを語る同窓生も数多くおります。

県教育委員会では、学ぶ意欲のある生徒は入試において合格させるようにと指導しているようですが、はたして各高等学校の教育現場の現状はどうでしょうか。一方、企業の求人情報を見ますと、高等学校卒業以上の人間を求めていることは明瞭であります。学ぶ意欲を引き出す懇切丁寧な指導で、実社会で道理をわきまえた立派な立ち振る舞いが出来、地元社会に貢献できる人間として送り出している新地高等学校の存在意義を失うことは出来ないと思いを大にして申し上げます。

### 4 地域と共にある学校

新地高等学校は、新地町に根ざしており、ボランティア活動や駅前開発プロジェクトなどで、町、町民、新地高等学校が三位一体となった連携融合した活動がアクティブに行われており、地域と共に学ぶ優れた実践校と評価しております。また、町内にある多くの企業も震災後の企業活性化には若い力が必要であり、地元企業に就職している多くの卒業生も存続を願う言葉を口にしております。

その学校を統合と言った二文字で片付けてしまうことは大きな問題であります。学校環境整備等には町からの御支援もいただきながら、創立113年にわたる歴史を歩んでおります。その学校を新地町から遮断し、消滅させることは福島県教育委員会の「学校は地域との連携が大事である、地域社会と共に」との文言に齟齬をきたしてくるのではないかと感じております。地域との連携の大切さは、高等学校改革基本計画の基本方針でも謳われ、それは尤もなことであります。その言葉の重要性を重んずるならば、被災地でもあり9名の生徒のかけがえのない命を失い、「おもひの木プロジェクト」を設立して校地に「おもひの木(沙羅の木)」を植樹し、毎月追悼行事を継続しております新地高等学校の統合に関しては、少子化に伴う学校規模の適正化の答申を受けておりますとの大義名分で大鉈を振るうよりも生徒の長所を発見して引き出してやる教育の本質を実践している新地高等学校を重要視していただきたいと願うばかりであります。

新地高等学校生の大多数が地元地区に就職し、地元の将来を背負っていくこととなります。大学に進学しない生徒の完結の学びの場でもある新地高校には小規模校ならではの良さが随所に散らばっております。

以上のことから、保護者ともども同窓生一同及び新地町商工会は福島県立新地高等学校の存続を心から強く要望するものであります。

# 福島県立新地高等学校の 灯火を守ろう

新地高等学校同窓会長 水戸 樹一

福島県教育委員会では、人口減少や震災復興などの課題に対応するため学校教育審議会に「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」を諮問し、その答申を受け「県立高等学校改革基本計画」を策定しました。前期5年間の実施計画に新地高校を相馬東高校に統合する計画が含まれておりました。

県教育委員会教育長が新地高校に来校し、同窓会長・PTA会長等に統合再編についての説明がありました。統合に関する説明は受けましたが、復興の大きな支柱の一つである新地高校の歴史と存在意義を考えると新地高校関係者一同は統合そのものに納得できず、より一層存続の必要性を感じるばかりでした。

新地高校同窓会と父母と教師の会は新地町商工会の賛同をいただき、三団体で協議し「福島県立新地高等学校の存続を求める『要望書』」を作成いたしました。6月13日には県庁に赴き、県教育長に提出した全文を本誌に掲載いたしました。また、6月19日にも地区選出の荒秀一県議を介して県議会議長に高校継続の「請願書」を提出しております。

新地高校の統合は、新地町にとりましては高校の廃校と変わりません。町唯一の高校が存亡の危機に直面しております。前述の三団体は勿論、にぎわいのある町づくりを目指している新地町全体にとりましても、目の前の大きな問題でもあ

ります。つきましては、是非とも掲載いたしました『要望書』をお読みいただきたく思います。そして、新地高校の果たしている大切な役割に御理解を賜り御支援をお願いいたします。今後は町民の皆様や企業の皆様を対象にした「存続を求める署名活動」、県への再度の「要望書」等の提出を行うな

ど、町全体が一丸となって新地高校の存続を懇願してまいりたいと決意しております。今後の取り組み——署名活動について

新地高等学校同窓会などは新地高校の存続を求め署名活動を実施いたします。新地町にとつて重要な教育機関でもあり、これからの地域を担っていく重要な役割を果たしている新地高校の存続のため、町民や企業の皆様のご協力をお願いいたします。新地高校の伝統を皆さんでつないでいきましょう。

**署 名 簿**

福島県知事 内堀 雅雄 様  
福島県議会議長 吉田 栄光 様  
福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一 様

**福島県立新地高等学校の存続を求める要望**

<要望趣旨>  
平成31年2月8日に「県立高等学校改革前期実施計画」が唐突に発表され、その計画の中で福島県立新地高等学校と福島県立相馬東高等学校が統合し、統合後は福島県立相馬東高等学校の校舎を使用することが公表されました。これは、新地町から高等学校がなくなる吸収合併とらえられます。  
福島県教育委員会（担当部署：県立高等学校改革室）より、統合計画について説明会が行われました。しかし、その質疑応答で福島県立新地高等学校が相馬地域で果たしてきた役割を統合高校が担えるのかについては、疑問が残るものとなりました。  
義務教育の結果、何かしらの原因から教育機能に適応できなかった子どもたちを、切り捨てることにつながります。また、新地町と連携し良好な関係を築く中で、それらの子どもたちを立派な社会人として実社会に送り出した実績を無にすることになります。このことは高校卒業者を望んでいる実社会の実態にもそぐわないことであり、福島県立新地高等学校の統合計画を了承することはできません。  
つきましては、署名を添えて下記請願事項について「県立高等学校改革前期実施計画」の福島県立新地高等学校統合計画の見直しを強く要望いたします。

<要望事項>  
1 「県立高等学校改革前期実施計画」の福島県立新地高等学校統合計画の見直しを図ること  
2 福島県立新地高等学校を相馬地区の特殊事情を鑑み、存続させること

令和元年 月 日  
団体名：新地・相馬地区活性化推進協議会  
福島県立新地高等学校の存続を求める会  
代表者名：新地高等学校同窓会長 水戸 樹一

氏 名	住 所

※ 上記の個人情報は、表記活動以外には使用いたしません。

▲署名簿（個人名記入版）

# 第25回 参議院議員 通常選挙

公示日 7月4日(木)

投票日 7月21日(日)

投票時間

午前7時～午後6時

## 投票日は7月21日(日)

この選挙は私たちの声を国政に反映する大切な選挙です。  
棄権しないで投票しましょう。



### ■投票所

町内7カ所の投票所で投票できます。投票所は「投票所入場券」に記載されていますのでご確認ください。なお、入場券は、7月上旬に郵送しております。

- ③ 病気、けが、出産等のため歩行が困難な場合。
- ④ 天災または悪天候により、投票所に到達することが困難な場合。

該当する方は、投票に係る書類等を請求する必要がありますので、投票日の4日前までに町選挙管理委員会にご連絡ください。

管理委員会が新規証明書の交付を受けてください。

### ◎問い合わせ

選挙管理委員会  
62-2111

### ■投票できる方

平成13年7月22日までに生まれた方で、3か月以上新地町に居住し、住民登録のある方。(平成31年4月3日までに転入届を出している方)

### ■投票の方法

投票は、候補者個人の名前を記入する選挙区選挙、政党(政治団体)等の名称や略称、または候補者個人の名前を記入する比例代表選挙があります。

### ■期日前投票をご利用ください

選挙の当日、次のいずれかに該当すると見込まれる方は、期日前投票ができます。

### ■身体に重度の障がいのある方は郵便等による不在者投票ができます

身体障害者手帳または戦傷病者手帳をお持ちの方で一定の要件に該当する方、または介護保険被保険者証を交付されている方で要介護5の方は、郵便等による不在者投票ができます。

### 期日前投票期間

7月5日(金)～7月20日(土)  
午前8時30分～午後8時

### 期日前投票所

役場1階101会議室  
※入場券をお持ちください。

### ○身体障がい者手帳をお持ちの方

両下肢・体幹・移動機能の障がいにあつては1級または2級、心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸の障がいにあつては1級または3級、免疫・肝臓の障がいにあつては1級から3級

### ○介護保険被保険者証をお持ちの方

要介護5の方  
現在、郵便投票証明書を

お持ちの方は、有効期限をお確かめのうえ、有効期限が満了する場合は、町選挙

### 防災行政無線の点検について

防災行政無線の点検を下記の日程で行います。点検期間中は、屋外のスピーカーや家庭の受信機から、雑音が流れたり、受信機のランプが点灯する場合があります。ご迷惑をおかけしますが、故障ではありませんのでご注意ください。

日程 7月8日(月)～12日(金) (5日間)

◎問い合わせ 総務課 (電話：62-2111)



## 新地町消防団消防操法競技大会 訓練の成果を披露！

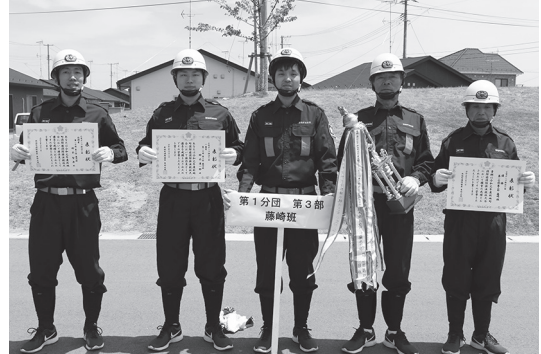
第34回新地町消防団消防操法競技大会が6月2日、新地町消防・防災センターで開催され、「ポンプ車の部」と「小型ポンプの部」の2種目に、それぞれ3チームが出場しました。選手たちは、応援に訪れた家族や仲間たちの大きな声援の中、日ごろの訓練の成果を披露し、競い合いました。

### チーム成績

**ポンプ車の部 優勝**  
**第3分団第9部（真弓班）**



**小型ポンプの部 優勝**  
**第1分団第3部（藤崎班）**



### 個人成績

#### 【ポンプ車の部】（敬称略）

指揮者 林 勝彦（真弓班）  
1番員 加藤 武司（真弓班）  
2番員 佐藤 勇治（真弓班）  
3番員 林 遼児（真弓班）  
4番員 寺島 一雅（大戸浜班）

#### 【小型ポンプの部】（敬称略）

指揮者 鈴木 智彦（藤崎班）  
1番員 鈴木康一郎（藤崎班）  
2番員 菅野 智一（今泉班）  
3番員 菅野 貴寛（今泉班）



### 福島広域雇用促進協議会からのお知らせ

#### ●職場体験実習「大人のインターンシップ説明会」

日時 7月17日(水) 10時～12時 会場 ハローワーク相馬(相馬市中村1-1 2-1)(予約不要)

7月23日(火) 13時～15時 会場 就活ワークショップ 求職者カフェ@南相馬  
(南相馬ジャスマール) (予約制)

内容 1人15分程度の個別説明会

※翌日以降に事業所と打合せを行い、その後体験実習となります。

#### ◎お申し込み・問い合わせ

福島広域雇用促進支援協議会 南相馬窓口(電話：26-7690)(FAX：26-7695)  
〒975-8686 南相馬市原町区本町2-27【南相馬市役所商工労政課内】



## 2019年度自衛官募集案内

防衛省・自衛隊では2019年度自衛官採用試験を以下のとおり行います。

	航空学生	一般曹候補生	自衛官候補生 (男子)	自衛官候補生 (女子)
受付期限	9月6日(金) (締切日必着)			
応募資格	海：18歳以上23歳未満の高卒者(見込含)または高専3年次修了者(見込含) 空：18歳以上21歳未満の高卒者(見込含)または高専3年次修了者(見込含)	18歳以上33歳未満の方 ※採用予定月1日から起算して3か月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない方 (2020年3月に採用予定の場合は2020年6月末時点で33歳に達していない方)		
試験日程	9月17日(火) 一次試験(筆記)	9月21日(土)「午前」 一次試験(筆記)	9月21日(土)「午後」 筆記試験 10月5日(土) 口述試験・身体検査	9月21日(土)「午後」 筆記試験 9月28日(土) 口述試験・身体検査
試験会場	陸上自衛隊郡山駐屯地	福島県立テクノアカデミー浜	福島県立テクノアカデミー浜及び陸上自衛隊福島駐屯地	福島県立テクノアカデミー浜及び陸上自衛隊郡山駐屯地
採用予定数	陸上自衛隊	男子：約4,000名 女子：約200名	約5,100名	約1,100名
	海上自衛隊	約80名 (うち女子若干名)	男子：約1,100名 女子：約150名	約1,300名
	航空自衛隊	約70名 (男女の区分なし)	約850名 (男女の区分なし)	約1,800名

※採用予定数は過去の採用人数を参考としています。

◎申込・問い合わせ 自衛隊福島地方協力本部 相双地域事務所 (電話：23-4712)

## 町民プール利用開始

新地町民プールおよび福田町民プールの利用を次のとおり開始します。

### 新地町民プール

**利用期間** 7月20日(土)～8月25日(日)  
**利用時間** 午前の部 9時～12時  
 午後の部 13時～16時30分  
 夜間の部 18時～20時  
 ※夜間の部の利用は、7月21日(日)～8月20日(火)

### 福田町民プール

**利用期間** 7月20日(土)  
 ～8月18日(日)までの土日  
**利用時間** 午前の部 10時～12時  
 午後の部 13時～15時  
 ※夜間の部はありません

**利用券(使用料)** 小学生 無料  
 中学生 1回 50円(6回券270円)  
 高校生以上 1回100円(6回券540円)

※利用券は、新地町民プールおよび福田町民プールでのみ販売します。

※利用券は、新地町民プール、福田町民プールどちらでもご利用いただけます。

- ・雨天時、もしくは外気温と水温の合計が45度以下の場合は利用できません。
- ・利用時の注意 小学生未満の利用時は保護者同伴でお願いします。また、夜間の部は、小学生以下の利用時も保護者同伴でお願いします。

◎問い合わせ 新地公民館(電話：62-2085)・教育総務課(電話：62-4477)

## 弁護士によるB型肝炎特措法電話相談会

**日時** 7月27日(土)・8月31日(土)・9月21日(土) 10時～15時

**内容** B型肝炎特別措置法に基づく給付金支給手続に関する相談(個人情報厳守)

**相談料** 無料(通話料はかかります。)

◎問い合わせ 全国B型肝炎訴訟新潟事務所(新潟市) (電話：025-223-1130)



緑の少年団 植花活動



地域が一体となって植花

5月28日、新地町緑の少年団（駒ヶ嶺小学校5年）は地元の行政区の方と一緒に学校前の花壇に植花を行いました。

地区の方33名と児童で植花する場所を確認しながら地域が一体となって植花を行いました。

花の配置のデザインは児童が考え、色とりどりに並べた花はとてもきれいでした。

また、これらの活動が認められ駒ヶ嶺小学校は緑化推進運動功労者として今年4月に内閣大臣賞を受賞しています。

宿泊・温浴施設 オープン

新地駅周辺の活性化へ

株式会社新輝が新地駅前に整備を進めていた宿泊・温浴施設のオープンセレモニーが6月1日行われました。

宿泊施設は鉄骨造り4階建てで総客室数は108室になります。温浴施設は露天風呂や岩盤浴などの設備があります。

宿泊・温浴施設の完成により新地駅前の更なる活性化が期待できます。



スポーツ激励金交付式

選手の活躍に期待

町では、各種大会に出場する個人・団体に文化スポーツ激励金を交付し、大会での健闘を祈りました。6月4日・17日に行われたスポーツ激励金の交付を受けた選手は次の通りです。

<アステルFC>

【第38回福島県少年サッカー選手権大会】

<相馬SSS>

○柴田諒翔選手、大友琉生選手、持立柳之介選手、目黒夏向選手

【第38回福島県少年サッカー選手権大会】

<新地町柔道スポーツ少年団>

○黒髭海斗選手、荒大和選手、遠藤優心選手

【第16回全国小学校学年別柔道大会 福島県予選】

<相馬高校柔道部>

○黒髭健人選手

【第69回東北高等学校柔道大会】

<相馬高校バレーボール部>

○森謙志郎選手、郡司圭斗選手、佐藤稜熙選手

【第55回東北高等学校バレーボール選手権大会】



## たばこ販売協同組合

### 町内で環境美化運動

新地町、相馬市、南相馬市のたばこ販売小売店で作る原町たばこ販売協同組合が6月11日、喫煙マナー向上と環境美化対策として中島地区を中心にゴミ拾いを行いました。

組合役員、新地方部の組合員やJT社員17名が参加し、環境美化に努めました。

組合では、「たばこの投げ捨て防止」を最重点テーマに喫煙マナーの向上、清潔で美しく住よいまちづくりを目指して環境美化活動を継続して行っています。



## 老人クラブ連合会 輪投げ大会

### 会員 300 人が交流を深める

新地町老人クラブ連合会主催「輪投げ大会」が6月18日、町総合体育館で開かれ、全47チーム、約300人が輪投げ大会で競いました。

参加者は、5名1チームで出場し、2回戦合計の点数で競い、交流を深めました。

大会の結果は次の通りです。

個人 (敬称略)	団体
優勝 加藤 光 (真弓C)	優勝 木崎B
2位 目黒 浄 (木崎A)	2位 福田東A
3位 荒美恵子 (木崎B)	3位 真弓C

最高齢者賞 (敬称略)

男性 杉目 一男 (杉目A)	96歳
女性 目黒タケ子 (福田西B)	94歳



## 令和元年春の叙勲 旭日小綬章受章

### 長年にわたり地方自治活動に尽力

前新地町長の加藤憲郎さん(杉目)が令和元年春の叙勲にて旭日小綬章を受章されました。

平成14年9月から4期16年間新地町長として町政を担い、東日本大震災後には復旧復興に取り組み、福島県内被災地の中でも復興まちづくりのトップランナーとして力を発揮され、地方自治活動に尽力してきた功績が認められました。





外あそびだいすき!

児童館の北側に「砂場」があります。「砂場」は平成26年に設置され、上には屋根がかかっているため涼しく遊ぶことができます。普段は衛生上砂場用のカバーをかけています。

今回のたんぽぽひろばでは、「戸外であそぼう!」ということで「砂遊び」をたっぷり行いました。砂のサラサラとした感触や砂を器に入れていろいろな形を作りました。

また、シャボン玉やボール遊び、草花摘みなど戸外の心地よい風を感じながら遊びました。

「砂場」は、なかよしひろばの時間でも使用できますので「安心安全な砂場」をぜひご利用ください。

8月のたんぽぽひろばは「水遊び」を予定しています。水遊びの後にはお楽しみのか割りもありますよ! みなさんぜひ遊びにきてください。

#### ご利用案内

開館時間 月曜から土曜 10時から18時  
 休館日 日曜日・祝祭日・年末年始  
 午前 なかよしひろば (月曜から土曜)  
           たんぽぽひろば (月2回)  
 午後 児童クラブ  
       ※土曜・長期休業期間は8時から18時  
 ◎問い合わせ 児童館 (電話: 62-4432)

#### たんぽぽひろばの予定

月日	内容	場所
7月17日(水)	絵本に親しもう	図書館
8月7日(水)	水遊び、すいか割り	児童館

## SHINCHI 新地高校 HIGH SCHOOL

初めての高校の大会に参加してきました!

新地高校1年生 渡部 楓都

4月27日から28日にかけて開催された、福島県高校総合体育大会卓球競技の相双地区大会に参加してきました。大会は個人戦と団体戦があり、私は個人戦に参加しました。

シングルスとダブルスの両方に参加しましたが、高校の試合はレベルが高く、勝つことができませんでした。まだまだ練習が足りないということを実感しました。

また、団体戦に自分は出場できませんでしたが、先輩たちが奮闘している雄姿を見ることができました。今回新地高校卓球部は、1名だけの県大会出場となりましたが、来年までにより一層練習に励み、部員全員で県大会に行きたいと思いました。

保育所から  
こんにちは  
新地保育所

いっぱい笑っておおきくなあれ!

一生のうちで最も成長が目に見えて分かりやすいと言われる乳児期。  
新地保育所では乳児保育を行っていません。様々な月齢のお子さん一人ひとりの生活リズムを大切にしながら保育しています。

スキンシップ大好き！  
乳児クラスでは毎日、わらべ歌やふれあいあそびでたくさんスキンシップをとっています。赤ちゃんたちがつこり笑顔になってくれるおすすめのスキンシップをご紹介します。



①「一本橋こちょこちょ」

みんな「こちょこちょ」でのくすぐりが大好き♪

子どものつぶやき  
4歳女兒 雨の日に外に出て…  
「カエルの匂いがする～」

母と子の健康

健康診査	対象者	日時 (受付時間)
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう	7月19日(金) 8月2日(金) 9:00～10:00
3か月児健診	31年2月18日～ 4月18日生	7月17日(水) 12:30～12:45
10か月児・1歳児健診	30年10月・11月生 30年6月・7月生	8月5日(月) 13:00～13:15
ベビーとママのリフレッシュ体操	生後2か月から1歳の誕生日を迎える月までのお子さんとその家族	7月23日(火) 10:00～11:30

◎問い合わせ 保健センター (電話: 62-2096)  
※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い場合や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

行事予定

各保育所  
19日 夏祭り  
26日 支援・絵本読み聞かせ

福田保育所

2日 消防署との  
合同避難訓練

22日 育児サロン

31日 栄養教室

新地保育所

10日 栄養教室

11日 消防署との  
合同避難訓練

23日 育児サロン

駒ヶ嶺保育所

9日 消防署との  
合同避難訓練

24日 栄養教室

ちよちよちあわわ

わらべうた/編曲☆窪田 涼/歌☆石川ちひろ

ちよちよちあわわかいぐりかいぐり とつとつとつとめ  
おつむてんてんひじぼんぼん

♥保育者が子どもをひざの上に抱き、手をとって  
しぐさをします♥

①ちよちよち  
両手をと  
2回手をたたく。



②あわわ  
手のひらで、口元を軽く3回  
たたく。



③かいぐりかいぐり  
両手をグーに握らせ、  
体の前で上下に回す。



④とつとつとめ  
両手の人さし指で、目元を軽く  
2回たたく。



⑤おつむてんてん  
両手のひらで、  
頭を軽く3回  
たたく。



⑥ひじぼんぼん  
片方のひじを曲げ、もう一方の  
手のひらで、軽く1回たたく。  
次の手を入れかえてくり返す。



②「ちよちよちあわわ」  
「あわわ」と声を出す  
ところが楽しいね♪  
「ちよちよちあわわ」  
の遊び方はイラストの通り  
です。ぜひ、おうちで  
も挑戦してみてください。  
大人も赤ちゃんもたくさ  
ん笑ってスキンシップを楽  
しみたいですね♪

# 図書館へ行こう

Let's go to Library

＝新着本・CD・DVDのご案内＝

## 7月の読み聞かせ会

日時 7/20(土) 11時～11時30分

図書館ボランティア「スイミー」のみなさんによる絵本の読み聞かせや工作などを行います。

### ◎一般書

『もののふの国』

天野 純希



平将門、織田信長、西郷隆盛…千年近くに亘りこの国を支配し続けてきた武士。しかしその真の主役は〈歴史〉そのものだった。血塗られた戦いの系譜を一巻の書物に描く、圧巻の物語。競作企画「螺旋プロジェクト」の中世・近世編。

『夢見る帝国図書館』

中島 京子

『蒼色の大地』

薬丸 岳

『負けてみる。聖光学院と斎藤智也の高校野球』

『大人になってやめたこと』

『賢い子を育てる夫婦の会話』

### ◎児童書

『しょうがっこうがだいすき』

うい



小学生になるまでにやるといいこと、小学生になったらやるといいこと…ネットやTV、新聞で話題の現役小学生ういちゃんが贈る、小学校生活がもっともっと大好きになる16のアドバイスを絵本化。

『ともだちタワー』 ケルスティン シェーネ

『この計画はひみつです』 ジョナ ウィンター

『お金さえあればいい?子どもと考える経済のはなし』

『2030年のハローワーク5分でわかる10年後の自分』

### ◎CD

『YANKEE』

米津 玄師

『森昌子 40周年ベストアルバム』

森 昌子

『nostalgic～みんな好きだった50のアニメソング～』

『リラックス・カフェ～ナチュラル・ギター・コレクション』

### ◎DVD

『空飛ぶタイヤ』

『おしりたんてい4 プブックいとうたいたんてい』

『第69回全国植樹祭』 ※館内視聴のみ



### 【もっと使いやすく！配架変更を実施！】

図書館では、特別整理期間に8万点の資料を点検し、利用者みなさまがより使いやすいよう、配架変更を行いました。

①ティーンズ(中学生向け)コーナーを新設！

②外国文学を日本文学の近くに配架し、身近に

③人気急上昇の大活字本をより見やすい場所へ

これからもますます使いやすい図書館を目指して、改善を行ってまいります。

### 《展示コーナー》

『海開き～海を楽しみつくすアイディア～』

7月30日(火)まで

今年はいよいよ、新地町で海開きとなります。海を楽しむ準備は万全でしょうか。釣りやバーベキュー、花火など海を満喫するための本や、身体づくり、ファッションに関する本を展示・貸出しています。ぜひご利用ください。



『夏休みおすすめ本の展示』7月13日～8月29日

読書感想文の書き方、自由研究や俳句など、夏休みの宿題の手助けになる本を展示・貸出します。なお、課題図書は例年予約多数となりますので、お早めにご利用ください。また、多くの方がご利用いただけるよう、早めの返却をお願いします。

### その他

『季節のおすすめ絵本 ～海・たなばた～』

も実施中

### 図書館カレンダー(7月)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	8/1	2	3

■は休館日



図書館HP  
QRコード

# 暮らしの情報



## 夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が7月16日(火)から25日(木)の10日間、県内一斉に実施されます。

この時期は、夏季特有の暑さや行楽等による疲労、開放感による無謀運転などの増加に伴い、交通事故が多発する傾向にあります。一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

### 年間スローガン

みんながね

ルール守れば

ほら笑顔

### 運動のスローガン

うしろでも

シートベルトを

つけようね

### 運動の重点

1. 子供と高齢者の交通事故防止
2. 道路横断中の交通事故防止とゆずりあい運転の実践
3. 飲酒運転、無免許運転及び速度超過など悪質・危険な運転の根絶
4. 自転車の交通事故防止(特に、福島県自転車安全利用五則の周知徹底)
5. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

### 『出動式を見学に 来ませんか』

「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」の実施に伴い、7月12日(金)9時から農村環境改善センターで、出動式を開催します。

新地保育所年長児によるアトラクションを行います。

どなたでもご来場いただけますので、ぜひご覧ください。

さい。

### ◎問い合わせ

町民課 ☎62-2116

### 国民年金保険料

#### 免除等の申請について

令和元年度の国民年金保険料免除等の申請受付が令和元年7月1日から開始されました。

保険料を納めていない状態で、万一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

所得が少なく本人・世帯主・配偶者の前年所得が一定額以下の場合や、失業した場合など経済的な理由等で保険料を納付することが困難な方は、お近くの年金事務所または役場健康福祉課窓口でご相談のうえ、申請手続きをしてください。

### ◎問い合わせ

相馬年金事務所国民年金課

☎36-5172

健康福祉課

☎62-2931

## 相馬野馬追前売券販売中

町では、相馬野馬追(甲冑競馬・神旗争奪戦)の入場観覧券前売券を販売しています。ご希望の方は以下取扱窓口にまでご購入ください。※なお、枚数に限りがありますので売り切れの場合はご容赦ください。

日程 7月28日(日)  
場所 南相馬市原町区雲雀ヶ原祭場地  
取扱窓口 役場企画振興課(土日祝を除く)  
観覧券 一般自由席大人 前売券800円  
(当日券1,000円)  
中学生以下無料  
販売期限 7月26日(金)まで

◎問い合わせ  
企画振興課 (電話: 62-2112)

## 第6回市町村対抗福島県ソフトボール大会 新地町チーム選手募集

地域活性化と東日本大震災からの1日も早い復興を祈念し、第6回市町村対抗福島県ソフトボール大会が開催されます。皆様のご参加お待ちしております。(男女の性別は問いません)

開幕 10月12日(土)

会場 相馬光陽ソフトボール場

### 出場資格

- (1)平成31年4月1日現在、新地町に住居票があり在住している18歳以上の方
- (2)尚英中学校出身で他市町村、他都道府県に在住の方

申込方法 新地公民館までお問い合わせください。

申込期限 7月31日(木)

### ◎問い合わせ

新地公民館 (電話: 62-2085)

## 消防職員募集

相馬地方広域市町村圏組合では、次のとおり消防職員を募集します。

採用予定人員 4名程度

受験資格

- ①平成4年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方(学歴は問いません)
- ②採用後、相馬地方管内市町村に居住できる方

受付期限 8月16日(金)必着

受付場所 事務局総務課

(相馬市役所3階)

◇第1次試験

試験日 9月22日(日)

試験会場

相馬地方広域消防本部

(南相馬市原町区高見町一丁目272)

◇第2次試験

試験方法 教養試験(高校卒業程度)、体力試験、適性検査

第1次試験合格者に対して別途通知します。

申込用紙 申込用紙は、組合事務局、相馬地方広域消防本部、相馬地方の各消防

署・分署及び相馬看護専門学校にて交付します。組合のホームページからもダウンロードできます。

◎申し込み・問い合わせ 相馬地方広域市町村圏組合事務局総務課

☎35-0211

〒976-8601

相馬市中村字北町63番地の3

相馬看護専門学校

オープンキャンパス開催

相馬看護専門学校では、看護師を目指す方やそのご家族の方を対象にオープンキャンパスを開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 8月4日(日)・5日(月) 13時30分～15時30分

場所 相馬看護専門学校

(相馬市石上字南蛭沢344)

内容 学校紹介、看護体験、模擬授業、在校生との交流

(質疑・応答) など

申込方法 高校生は進路指導担当の先生へ、中学生・

一般(社会人)の方は直接お問い合わせください。

◎問い合わせ 相馬看護専門学校総務係

☎37-8118

〒976-0006

相馬市石上字南蛭沢344

## 住宅用火災警報器の設置調査

消防新地分署および新地町消防団では、住宅用火災警報器の普及促進のため住宅用火災警報器の設置調査を実施します。火災から命を守る住宅用火災警報器の普及促進のため、調査のご協力をお願いします。

調査対象 町内全ての住宅

調査方法 消防署職員及び消防団員による聞き取り

調査期間 7月13日(土)～8月31日(土)

◎問い合わせ

消防新地分署

☎62-2117

〒62-2111

総務課

☎62-2111

〒62-2111

総務課

☎62-2111

〒62-2111

総務課

☎62-2111

〒62-2111

総務課

☎62-2111

## 第23回新地町

## 『少年の主張大会』をご覧になりませんか？

日時 7月8日(月) 13時30分～

場所 尚英中学校体育館

(上履き、外履き入れをご持参ください。)

令和元年度第23回新地町「少年の主張大会」が7月8日に尚英中学校体育館で開催されます。

町内の小・中学生の日頃の熱い想いを、ぜひお聴きください。

※車でお越しの方は、町柔剣道場前駐車場または尚英中学校校庭に駐車してください。

主催 新地町青少年健全育成町民会議

共催 “社会を明るくする運動”新地町推進委員会

◎問い合わせ 新地公民館 (電話：62-2085)





## わくわくランド イベント情報

アロマストーンを

デコレーション

開催日時

7月14日(日)・28日(日)

10時30分～12時

開催場所 わくわくランド

エントランスホール

内容 工作用石膏を使用し

て作成した石にビーズや貝殻

等を飾り、アロマオイルで香

りを付けてオリジナルのアロ

マストーンを作ります。

定員 各日先着30名

(定員になり次第終了)

参加対象

3歳～小学生まで

※保護者同伴

参加料 無料

参加方法 当日受付

※各日10時より整理券配布

※1回のお申し込みにつき

3名まで

講師

わくわくランドスタッフ

◎問い合わせ

相馬共同火力発電株式会社

新地発電所内わくわくランド

☎ 62-4722

## 公立双葉看護学院

### オープンスクール

### & 学院説明会

双葉看護学院では、

オープンスクールおよび学

院説明会を開催します。多

くの皆様のご来院をお待ち

しています。

日時 7月20日(土)

9時～12時

場所 双葉看護学院

(南相馬市原町区萱浜字巢

掛場45-76)

内容 学院説明会、進路相

談、血圧測定、妊婦体験、

高齢者体験、沐浴体験など

申込方法 不要

◎問い合わせ

公立双葉看護学院

☎ 32-0990

## 未来(あした)への道

1000km縦断リレー

2019スタート

7月24日から青森から東

京までの東日本大震災の被

災地を縦断するリレーを開

催しています。7月31日に

は町内を走行し、町役場と

駒ヶ嶺小学校が中継所とな

ります。ランナー・サイク

リストたちへの応援をお願

いします。

※各中継所の到着・出発

時間は公式ホームページ

でご覧ください。(<http://www.1000km.jp/>)

◎問い合わせ

未来(あした)への道

1000km縦断リレー

2019運営事務局

☎ 03-3451-6107

※平日10時～17時

## 誕生おめでとう

(令和元年5月21日～令和元年6月20日届出)

(子ども) (親) (地区)

ま ゆ 横田寿彦・尚子 小川

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

## ご冥福をお祈りします

(令和元年5月21日～令和元年6月20日届出)

(名前) (年齢) (地区)

高橋 良一	79歳	沢 口
穴戸 マスエ	97歳	中 里(特養)
小西 チヤ	89歳	中 里(特養)
林 長次郎	69歳	中 里(特養)
高橋 八重	70歳	杉 目
水戸 喜隆	78歳	小 川
渡邊 巖夫	77歳	小 川
佐々木 幸男	87歳	小 川
鈴木 安子	76歳	駒ヶ嶺町
佐藤 均	52歳	富 倉

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

## 今月の 納付

固定資産税 第2期  
国民健康保険税 第1期  
介護保険料 第1期  
7月31日(水)までに納付、または引落口  
座残高の確認をお願いします。

◎問い合わせ

税務課 (電話: 62-2119)

健康福祉課 (電話: 62-2931)

## 人の動き

福島県現住人口  
調査月報に基づく

人口 / 8,156人 (-2)  
男 / 4,135人 (-1)  
女 / 4,022人 (-1)  
世帯数 / 2,870世帯 (+10)  
6月1日現在 ( ) は前月比

# ゆかい 遊海しんち2019

～令和元年「みんなへ感謝・みんなの笑顔」のために～

8/3 (土)  
10:00～20:30

釣師浜海水浴場  
釣師浜漁港周辺

## ○イベント内容

漁船パレード  
港湾業務艇「おきかぜ」体験乗船  
ビーチバレーボール大会  
ステージイベント  
花火大会 等

### ビーチバレー大会参加チーム募集

- ・開始時間 9時～
  - ・会場 釣師浜海水浴場
  - ・競技概要  
午前部：3人制  
(小学生以上、女性1名以上含む)  
午後部：男子ペア、女子ペア  
(中学生以上2名)
  - ・参加費 1チーム 1,000円
  - ・申込期限 7月30日(火)
- ◎申し込み・問い合わせ  
新地公民館 (電話：62-2085)

### 「おきかぜ」無料体験乗船 参加者募集!

国土交通省所有の港湾業務艇「おきかぜ」に乗船して、海から沿岸部の景色を眺めてみませんか? 釣師浜漁港を出発し、相馬港周辺を巡るコースです。参加費は無料ですので、夏の思い出作りにふるってご参加ください。

- ・乗船時間 ① 13時～ ② 14時～ ③ 15時～ 各回40分
  - ・対象 小学生以上 (小学生は保護者同伴に限ります。)
  - ・募集人数 各回12名 (最大36名)
  - ・申込方法 新地町公式ホームページまたは新地町役場企画振興課(2階)窓口で申込書(裏面)に必要事項を記入し、申し込みください。
  - ・申込期限 7月25日(木)
- (※定員になり次第、締め切らせていただきます。)

### ◎お問い合わせ

遊海しんち2019実行委員会  
電話：62-2112 (新地町企画振興課内)

### メッセージ花火大募集

実行委員会では、花火大会における「メッセージ花火」を募集します。ご結婚のお祝いや大切な人への感謝、さまざまな記念、思い出に花火を打ち上げてみませんか。

1回5,000円からで、花火打ち上げ時にメッセージと名前を紹介します。

詳しくは実行委員会までお問い合わせください。

### ◎お問い合わせ

遊海しんち2019実行委員会  
電話：62-2112 (新地町企画振興課内)

9年ぶりに復活!!  
みんなで海に行こう!!

## 釣師浜海水浴場再開!

7月20日(土)～8月19日(月)

7月20日(土)は海開き式と砂浜での「宝探しゲーム」などイベントを実施!